

ワンポイント  
ポスターセッションのやり方とポイント

ポスターセッションとは、発表したい内容をまとめた大判のポスターの前で行うプレゼンテーションの一種です。ポスターの前に立ち、その内容について発表します。多くの場合、会場の複数箇所に同時にポスターを掲示し、聞き手はそれらのポスターを見て興味を感じたところに行き発表を聞いて回ります。発表者はポスターの前で待機して、訪れた聞き手に伝えたい内容を発表・説明します。多くの聞き手は皆さんの発表の仕方とポスターの視覚的な印象で、まず内容を判断します。説得力のある話をするためには、話し方や見せる情報をいかに分かりやすく、目に留まりやすい形でポスターに掲載するかがカギになります。

▼ポスターのポイント

基本的には色は、1〜3色程度に抑え、シンプルにまとめる

別の項目であることが分かるよう間隔を空ける

枠などを使って情報のまとまりを整理する

データや情報の関連性などを視覚的に表現する

図やグラフを配置した場所は注目を集めやすい

参考文献もしっかり示す

発表の聞き手に期待するアクションも提示するとお良い

タイトル(特に重要なキーワード)はしっかり目立たせる

見出しだけでおおよその内容が伝わるように工夫する

背景は事実やデータに基づいて簡潔に提示する

課題と解決方法(アクション)は対応関係が分かるように整理して提示する

結論や(予想される)結果については、具体的なものを示す

ワンポイント  
ショートムービー(動画)を作る際のポイント

動画による Output は、視覚的・聴覚的なインパクトをもって視聴者に伝えられることや、必ずしも発表者がそばにいらなくても伝えられることがメリットです。その一方、長々とした説明はかえって理解を妨げるため、伝えたいポイントを絞って、視覚的に分かりやすく伝える必要があります。

▼動画のポイント

- 数字は要点を 1〜2 個に絞って提示する
- 数値は、グラフなど視覚的に分かりやすく示す
- 注目して欲しいところに絞って「動き」を付ける
- 音声は、雰囲気作りや補助的な効果に留める
- 動画作成ツールは表現したい内容に合わせて選ぶあるいはツールに合わせた表現をする



▼動画作成の流れ

